

「凸凹の わ 100 人会議」から 100 人の声がでできました！

共生社会に向けて大切なことは何かについて意見を出し合い

発達障害のある当事者、保護者・家族、支援者にとって大切なことを8カ条にまとめました。

-----当事者も 家族も 支援者も-----

8カ条～分かって欲しい気持ちをわかり合おう！！

1. ひとりで悩まないで誰かと繋がろう！

同じ悩みを共有できる仲間作りや情報交換をしましょう。

2. 自己理解を深め、分かりやすく自己PRを！

周囲に理解してもらうために、まずは自分自身の特性や得手・不得手を理解して、説明出来るように用意しておきましょう！

3. 心のキョリと物理的キョリを意識しよう！

親と子の距離感が近くなりすぎないように、物理的キョリを保つことが必要です。

4. 発達障害に関わる人は「その子(人)を見る目」を養おう！

障害名で判断するのではなく、今、その子(人)が何に起きているのかを観察しましょう。

5. 当事者と家族と支援者がお互いにレベルアップしよう！

してほしい、わからないを声にし、お互いにいろんな工夫をしていこう！

6. 失敗OK！試行錯誤していこう。

失敗しても、間違えても、試行錯誤しながら、いつでも再スタートできる環境を作りましょう。

7. 言葉だけじゃない「発達障害」を啓発します。

「発達障害」という言葉は知ってるけど、その中身まではまだまだこれから！

8. 発達障害に特化した制度の充実を！

発達障害専用の手帳や制度などの情報の公開、申請支援など困り感に特化した制度が必要です。

発達障害の当事者でもある子どもたちも 100 人会議に参加しました。
「保護者・家族について」「学校について」を話し合いたくさんの意見が出ました。
その子どもたちの声から大切なことを7カ条にまとめました。

当事者である子どもたちの声

【僕たち・私たちは】

1. 思っていること、して欲しいこと、助けて欲しいことを伝えよう。
2. 嫌なことは、本当に嫌なら嫌って言おう！
3. 信頼できる先生やわかってくれる先生を見つけよう。
4. 自分なりに工夫をして出来るところまでやってみよう。

【保護者・家族、学校は】

5. 人と比べないで 1 人 1 人を認めて欲しい。
6. 学校の先生の負担を減らしてあげて欲しい。
7. 子どもたちの特性を理解して対処を考えて欲しい。
8. 頑張る方向だけ考えないで欲しい。

そして保護者・家族に向けてこんな意見も・・・

配慮してくれたり、自分のしたいことを応援してくれることに感謝している